

## 日本赤十字社診療放射線技師会 平成26年度東部ブロック活動報告

### 1. 第1回施設代表者会議開催

以下、議事録

#### 第1回施設代表者会議議事録

日時：平成26年度4月25日（金） 午後13:00~17:00

場所：さいたま赤十字病院 本館5階第2会議室

#### 参加者名簿

	施設	氏名	役職
1	水戸赤十字病院	大貫信也	課長
2	那須赤十字病院	手塚章一	技師長
3	前橋赤十字病院	久保田利夫	技師長
4	原町赤十字病院	町田 充	技師長
5	さいたま赤十字病院	尾形智幸	技師長
6	小川赤十字病院	小林教浩	課長
7	深谷赤十字病院	清水文孝	技師長
	深谷赤十字病院	中山 進	課長
8	成田赤十字病院	鈴木立彦	課長
9	日本赤十字医療センター	小山 均	技師長
10	武蔵野赤十字病院	荒井一正	課長
11	大森赤十字病院	樋口新一	課長
12	横浜市立みなと赤十字病院	宮沢 明	技術課長
13	秦野赤十字病院	湯山浩司	課長
14	長岡赤十字病院	林 智	技師長

議長：尾形（さいたま） 書記：中山（深谷）

#### 議題

##### 1. 正式名称

「日本赤十字社診療放射線技師会東部ブロック施設代表者会議」

##### 2. 運営について

規約作成 他のブロックを参考にして尾形さんが取りまとめる。メール会議活用

開催時期 4月中旬と東部ブロック研修会の2回

場所 さいたま赤十字病院（4月開催）

連絡方法 メールで出欠確認  
 依頼状 院長への依頼状は2ヶ月前までに。依頼状は院長と本人宛の2通  
 参加方法 出張扱い（日本赤十字医療センター除く）  
 参加者 各施設より1名とし職名は問わない  
 その他 議長・書記の順番は持ち回りとする。メール連絡  
 東部ブロック研修会では当番病院が担当する

### 3. 理事・委員の順番

理事 1期2年とし留任を妨げない  
 ブロック理事 尾形（さいたま）  
 委員 当番病院と次回当番病院の2名（案）  
 ・委員の仕事内容がはっきりしない  
 ・何をしてよいか解らない

### 4. 画像保管状況

クラウドについて  
 ・採用 深谷、前橋  
 ・今後検討 多数の施設  
 シンスライスの取り扱い  
 ・全て PACS（少ない）  
 ・期間を決めて、または残さない（多数）  
 手術支援システムについて  
 ・採用（少ない）  
 ・検討（基準の確認）  
 他院の画像取扱い  
 ・全て取り込む（殆どの施設）  
 誰が行っているか  
 ・事務（多数の施設）・技師・事務と技師  
 CD の書込みは誰  
 ・事務（多数の施設）・技師・事務と技師・医師

### 5. 各施設から

施設移転時について（さいたま）  
 患者の移動  
 ・自衛隊、警察に依頼  
 ・入院患者を減らして  
 機器の移動  
 ・免震構造は増築できない  
 ・7年以内の装置は全て移転  
 ・本社を通すと時間がかかる

院内歩行ルールについて（さいたま）

- ・武蔵野赤十字は左側ルールで職員は端を歩く

CT検査の患者固定に付いて同意書は必要か

- ・同意書は取っていない（全ての施設）
- ・落下対策の固定として扱う

治療業務での資格者の取り扱いについて（医療センター）

- ・特別な扱いはしていない（全ての施設）
- ・学会費、出張の補助
- ・非常勤物理士の採用

漏洩線量について（長岡）

- ・各県で事情（理解度）が異なるのでメールで情報収集

産休の補助について（那須）

- ・産休期間中はアルバイト募集（実際は来ない）

大型停電の対応について（武蔵野）

- ・一通りのモダリティーに対応している
- ・100Vは対応
- ・赤コンセントは事前に確認が必要（通電しない）
- ・停電テスト後に不具合がでる

サポートエンドの装置について（横浜市立みなど）

- ・武蔵野1台、深谷2台を使用中
- ・幹部にサポートエンド装置の報告が必要
- ・10年間は使用する

マンモ認定施設に関して

- ・施設申請を出していない
- ・デジタルでのA認定は難しい

以上各施設のご意見を簡単に羅列いたしました。

文責 中山（深谷）

2. 日本赤十字社診療放射線技師会 第27回東部ブロック研修会報告

平成26年11月8日(土) - 9日(日)

当番病院 那須赤十字病院

参加者 85名

11月8日(土)

- ① 大会長挨拶 那須赤十字病院 手塚章一 技師長
- ② 那須赤十字病院 事務部長挨拶 松山昭夫 事務部長
- ③ 日本赤十字社診療放射線技師会会長挨拶 清水文孝 会長
- ④ 教育講演 「災害拠点病院新築における工夫と反省点」  
那須赤十字病院 副院長・放射線科部長 水沼仁孝 先生  
座長 那須赤十字病院 吉成 亀蔵 課長
- ⑤ 一般演題 6演題  
座長 那須赤十字病院 中野繁明 氏  
増淵祐介 氏
- ⑥ 特別講演 「医療被曝リスクと低減対策」  
国際医療福祉大学クリニック院長 鈴木 元 先生  
座長 那須赤十字病院 檜山 操 課長
- ⑦ 施設代表者会議  
議事録(資料1)参照
- ⑧ 情報交換会  
参加者、施設間の親睦が深まり非常に有意義であった

11月9日(日)

- ⑨ 教育講演 「医療者のメンタルヘルス」  
那須赤十字病院 臨床心理士 白石奈緒美 先生
- ⑩ 一般演題 6演題  
座長 那須赤十字病院 佐藤統幸 係長  
井戸沼佳明 係長
- ⑪ 日本赤十字社診療放射線技師会講演  
「原子力災害時の救護活動における診療放射線技師の役割」  
唐津赤十字病院 坂井征一郎 先生  
座長 前橋赤十字病院 久保田利夫 技師長
- ⑫ 閉会式

以上、那須赤十字病院スタッフの熱意がうかがえる有意義な2日間の研修会であった。

#### 資料1

日本赤十字社診療放射線技師会 東部ブロック施設代表者会議 議事録

日時：平成26年11月8日(土)

会場：りんどう湖ロイヤルホテル

議長：尾形 智幸 東部ブロック理事(さいたま)

進行：手塚 章一(那須)

世話人：清水 文孝 会長(深谷)

書記：井戸沼 佳明(那須)

出席者(敬称略)

新藤 裕之(水戸)、山岸 弘(芳賀)、茂木 常男(足利)、久保田 利夫(前橋)、  
新木 由香(原町)、尾形 智幸(さいたま)、小林 教浩(小川)、中山 進(深谷)、  
仁平 康弘(成田)、小山 均(医療センター)、荒井 一正(武蔵野)、樋口 新一(大森)、  
宮澤 明(横浜)、田部井 誠(秦野)、水石 紀茂(相模原)、地崎 純一(長岡)、  
山下 明(那須)、吉成 亀蔵(那須)

欠席病院：葛飾産院・山梨・古河

#### 【報告】

東部ブロック研修会報告

[ 経費 ]

- ・別紙の通り
- ・助成金：日本赤十字社診療放射線技師会より15万円

東部ブロック院長連盟より5万円

・全国理事会で技師会への返納を無しにしてほしいと言われたと報告があった。いくつか意見が出たが、余った分は担当施設の雑費というかたちで会計上残金を0とし返納はしないことに決まった

#### 【審議】

第1号議案

平成29年度当番病院の選出について

- ・平成27年度 横浜市立みなと赤十字病院
- ・平成28年度 大森赤十字病院
- ・平成29年度 長岡赤十字病院
- ・平成30年度 さいたま赤十字病院

## 第2号議案

### 指定演題について

- ・今回はMRのシンポジウムを考えていたが、日本赤十字社診療放射線技師会より「原子力災害時の救護活動における診療放射線技師の役割」の講義を行いたいとの申し入れがあり、時間の関係上シンポジウムは中止となった。
- ・清水会長よりブロックの研修会において、各専門部会を使ってほしいという提案があった。その際、講師等の費用は技師会で負担して頂けるとのこと。

## 第3号議案

### 撮影室の実行稼働負荷の設定・算出・届出について

- ・直近の最大値から多少の増減を見込んだ値で良いのではという意見もでたが、詳細はメーカーへ問い合わせたほうが良いのではないかという意見も出た。

### 月報（業務量）の統一（件数・人数・モダリティ等）

#### 業務集計の統一：実態調査アンケートをベースに算出方法を全国で統一することの提案

- ・今回アンケートを行った背景には、本社で行っている業務統計において各施設で集計方法が異なっていることがあった。このため今後は今回のベンチマークをもとに修正を加えながら使用し統計を継続していく。

### 【その他】

- ・技師会のHPがリニューアルしSNSでの情報交換も可能になったので有効に活用して頂きたい
- ・連絡員の役割について：各専門部会から発信された情報を各会員に発信・収集する
- ・来年度の研修会の日程が11月7、8日（土、日）と決まったが、宿泊費が高くなりそうなため支部に会場費を助成してもらえないか交渉する

2014年11月12日

文責 井戸沼 佳明 鈴木 悠（那須）

確認 手塚 章一（那須）